

平成29年度第2回高知県農業経営・生産対策等に関する第三者委員会概要
(現地調査及び議事)

開催日時：平成29年12月6日(水)9:30~17:00

開催場所：JAコスモス管内現地及びJAコスモス日高支所2階会議室

出席者：委員3名

(玉里委員長、芳之内委員、西川委員、常光委員及び坂本委員は欠席)

1 現地調査及び会議スケジュール

県庁(発) ⇒ ①次世代型ハウス(ミニトマト栽培用ハウス) ⇒ ②ミニトマト選果施設
(株)イチネン農園 (JAコスモス第二トマト選果施設)
●関連県事業で設置した施設 ●産地パワーアップ事業で設置した施設

⇒ ③ニラそぐり施設 ⇒ 昼食 ⇒ 会議 ⇒ 県庁(着)
(JAコスモス永野集出荷場)
●産地パワーアップ事業で設置した施設

一 次 第 一

1 開会

事務局(地域農業推進課長)あいさつ
委員長あいさつ

2 議事

- (1) 強い農業づくり交付金・産地パワーアップ事業について
内容説明：産地・流通支援課
- (2) 環境保全型農業直接支払交付金について
内容説明：地域農業推進課
- (3) 中山間地域等直接支払交付金について
内容説明：地域農業推進課
- (4) 閉会

―事務局からの説明―

資料のとおり

―質疑応答―

(1) 強い農業づくり交付金・産地パワーアップ事業について

【芳之内委員】

産地パワーアップの事業では、かなり事業費が高いものもありますが、普通、実際に農家さんが経営される分野ですので、例えば2億の投資すれば2億円分の利益、普通だと利益増収だというその考え方があるんですけど、実際はどれぐらいの利益増収が見込めるのか、事業を投資していくときにどれぐらいのラインが回収できればいいのか、といった考え方はあるんですか。

【事務局】

費用対効果は国の事業の場合は提出資料でもありますので、この費用を掛けて実際どれぐらいの効果があるのかを試算しているところです。

出荷場につきましては、機械化による省力化で人件費が下がるから、これぐらいの投資ができるというように、投資しても元が取れるというような計算を行い、国の事業の申請をしているところです。

【西川委員】

クラスターの関係ですが、例えば水産のクラスターでは、どのような方々が参加し、どのように連携していくのか。

【事務局】

この水産のクラスターは県の水産振興部とですね、あと幡多の地域本部が取り組みにかかわっておりまして、地域本部を通して、水産振興部との連携を図っていくようにする計画で動いています。また、市の中でも産業、農業の関係部署と水産の関係部署と連携して取り組んでいるようです。

【玉里委員長】

クラスターはなかなか夢のある構想ですが、連携が課題だろうと思うんですけど、どこが回していくかなということも思っていたところです。ぜひ、道の駅とかいろいろ組織的なところとの連携もありますので、きっとユニークな個人もいらっしゃると思いますから、そういう方々のアイデアを取り上げていただくようなプロジェクトにしていいただければなというふうに思います。

視察の方がかなりいろいろ来られると思うんですけども、お金を取ったりしないんでしょうか。

【事務局】

四万十の団地は視察料をいただいております。さらに、団地だけではなく、地域のいろんな観光やお土産とつなげたり、町全体でお金を落とすとしていってもらえるような流れができればと考えております。

(2) 環境保全型農業直接支払交付金について

【西川委員】

なぜ「冬期湛水」の取組の調査を夏場に実施したのですか。冬期湛水ならば、冬場の湛水している時期に調査してはどうですか。

【事務局】

調査時期、方法などが定められているため、夏場の出穂期に実施しました。

【西川委員】

「冬期湛水」は湿地帯とみなして湿地帯の生物を増やすという考え方なので、複合的にいろいろなことをやっています。例えば、水田と水路とのつながりを切らせない、冬期湛水の先進地では、落水させたときに水生生物が死滅してしまわないように、水田の片隅、落とし口などにビオトープをつくっています。ですので、先進地を一度見に行かれてはどうですか。もしかしたら水田の構造的なものに違いがあるというようなことがあるのかもしれない。

【事務局】

検討したいと思います。

(3) 中山間地域等直接支払交付金について

【玉里委員長】

担い手がないとかについてアンケートで出ているためですね。ほんとにもう真剣にいろいろとお考えになっているという向きは伝わりました。

最後に、確認で何かあればお聞きしますが、今後のやり方としては、委員の皆さん方にもお読みただいて、非常に詰まっていますけど、文言のこととか整理とか、あと疑問等々あるかと思えますけれども、どうですか、事務局に何かアイデアがあれば。

【事務局】

こちらの方で集約したものを持ち回りとか何かの形でやるとか、それでいいかと思えます。

【芳之内委員】

膨大な情報量のため頭入りきらないんですけど、報告の中でここはまあ問題ないところ、ここが迷っているとか、ここについてちょっとこう判断がどうしたらいいか分からないとかいうようなところがあれば、チェックをつけていただければ。

【事務局】

ちょっと今回担当の方も5年に一度の中間評価ということで、市町村の方にも時間を取っていただき、県として取りまとめの内容も膨大にはなりましたので、可能な範囲で委員さんにも見ていただいて、ご意見いただけたらありがたいと思っております。